

受益者の皆様へ

弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月10日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月10日の基準価額	前営業日比
JA 海外株式ファンド	16,502 円	▲998 円 (▲5.70%)

○市況動向

3月10日の株式市場は、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）が前営業日比▲14,265.19ポイント（▲6.38%）の209,168.13ポイントと下落しました。

この背景としては、

- ① 新型コロナウイルスについて、欧州主要国において感染拡大が継続していることや米国ニューヨーク州が非常事態宣言を発したことを受け、グローバル景気の減速が意識されたこと。
- ② 前週にOPECプラスでの減産強化が合意に至らなかったことに加え、サウジアラビアとロシアの双方が石油供給拡大を計画しているとの報道を受け原油価格が急落したことで、低格付けが多い米国のエネルギー企業を中心に信用収縮に対する懸念が高まったこと。

などが考えられます。

○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、前述した市場動向を背景に、欧米株式市場が全面安の展開となり当ファンドで組入れている銘柄が大きく下落したことに起因するものです。

○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以 上

JA 海外株式ファンド

追加型投信／海外／株式

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

記

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主に日本を除く世界先進各国の株式を実質的な投資対象としますので、海外株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に2.20%（税抜2.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.65%（税抜1.50%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額（1口当り）・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

受益者の皆様へ

弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月10日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月10日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> つみたてNISA米国株式S&P500	9,590円	▲654円(▲6.38%)

○市況動向

3月9日から10日にかけて、当ファンドのベンチマークであるS&P500指数（当社円換算ベース）は、▲6.45%と大幅に下落しました。これは、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したことによるものです。

・S&P500指数（配当無、ドル建て）

3月6日2,972.37ポイントから9日2,746.56ポイントと▲7.60%の下落

・東京時間のドル/円 対顧客相場※

3月9日102.01円から10日103.28円と+1.24%のドル上昇

(※対顧客直物電信売買相場)

この背景としましては、

- ① 新型コロナウイルスの感染地域が引き続き全世界で拡大傾向にあり、パンデミック（世界的な大流行）による景気減速への懸念が一段と高まりつつあること
- ② 石油輸出国機構（OPEC）と非OPEC主要産油国で構成されるOPECプラスが減産強化で合意に至らなかったことに加え、ロシアおよびサウジアラビアが増産の方針を示したことで原油価格が急落し、今後の価格競争の激化への懸念から米国株式市場が下落したこと

○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したことに起因するものです。

○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

農林中金<パートナーズ>つみたてNISA米国株式S&P500

追加型投信/海外/株式/インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

記

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある証券を投資対象としますので、米国株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、S&P500指数（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものではありません。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。
ファンドの純資産総額に年0.495%（税抜年0.45%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。
ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

受益者の皆様へ

弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月10日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月10日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> 米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド	9,177 円	▲626 円 (▲6.39%)

○市況動向

3月9日から10日にかけて、当ファンドのベンチマークであるS & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）は、▲6.45%と大幅に下落しました。これは、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したことによるものです。

・S & P 5 0 0 指数（配当無、ドル建て）

3月6日 2,972.37 ポイントから9日 2,746.56 ポイントと▲7.60%の下落

・東京時間のドル／円 対顧客相場※

3月9日 102.01 円から10日 103.28 円と+1.24%のドル上昇

(※対顧客直物電信売買相場)

この背景としましては、

- ① 新型コロナウイルスの感染地域が引き続き全世界で拡大傾向にあり、パンデミック（世界的な大流行）による景気減速への懸念が一段と高まりつつあること
- ② 石油輸出国機構（OPEC）と非OPEC主要産油国で構成されるOPECプラスが減産強化で合意に至らなかったことに加え、ロシアおよびサウジアラビアが増産の方針を示したことで原油価格が急落し、今後の価格競争の激化への懸念から米国株式市場が下落したこと

○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したこと起因するものです。

○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

農林中金<パートナーズ>米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認
 いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

記

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に米国の株式等に実質的な投資を行うので、米国株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、S&P500指数（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.605%（税抜年0.55%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員